

# 問 再処理施設の事故の危険性は



答 危険な状態の前に機能回復

豊創会 阿部 功志 議員

議員 再処理施設で事故が起きたときの影響は。

村民生活部長 リスク評価により研究所の敷地境界で0.1mSVになると想定されている。これに対し、移動式の設備等により安全性を確保できるとしている。

議員 大丈夫だという答えばかりで、機能回復できないときの答えがない。事業所に確認を。

問 選挙公報、なぜ全戸配布しない  
答 日程上難しい

議員 7月参院選でも選挙公報を全戸配布しなかった。

総務部長 シルバー人材センターに頼んでも、日程上難しい。

議員 これは制度的欠陥。今後、置き場所としてスーパードコンビニ・駅・銀行・病院・商店などに置かせても

らうっては。

総務部長 有効な取り組み。検討する。

問 避難について施設と話し合いを  
答 タイミングを見て話し合う

議員 避難について施設と個別に話し合い、課題の確認を。

村民生活部長 病院や福祉施設と計画策定期の適切なタイミングで説明会や個々の事業者との話し合いを進める。施設ごとの避難計画を見ながらなので時間がかかる。  
議員 施設の負担にならないように。



再処理施設の外觀

# 問 広域避難計画に議会の検証を



答 議会への審議依頼は考えていない

無会派 清宮 寿子 議員

議員 5月に実施された住民意見交換会での住民の意見や6月議会での要望等が、計画に反映されたか、住民のいのちと暮らしを守るために議会が検証すべきである。考えを伺う。

村民生活部長 村が主体的に計画を策定し実行していく。基本計画を取りまとめ、関係自治体や機関とともに、訓練を繰り返しながら検証、修正することで現実性・実効性が高まっていく。

議員 議会は執行機関を監視・チェックする機関である。避難計画は「東海村防災会議」で策定・決定されるため、計画策定前に住民の意見が反映されていることを、また、現実性と実効性が適切であることを確認する必要がある。  
村民生活部長 議会を

含め多方面からの意見等については、妥当性・有効性を検討し、反映していく。訓練などを繰り返すことで、計画の検証に込められる。

議員 「仏作つて魂入れず」の故事にあるように、計画には、住民の理解という魂を入れなければならない。そのため、議会での検証が必要。  
村長 住民の理解が得られるよう執行部が責任をもって策定する。



真崎地区防災訓練の様子